

記者配布資料

平成23年4月19日

部 課 名	課長名	班長名	担当職・氏名	連絡先・県庁内線
健康福祉部 健康増進課	三輪 茂之	母子保健・感染制御 弘田 隆彦	保健師 長井 詩乃	083 933 2956 内線2956
発表内容の 関係地域	全川、岩国、柳井、 周南 、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩、首都圏			

老人保健福祉施設における感染性胃腸炎患者の発生について

周南市所在の老人保健福祉施設において、下記のとおり感染性胃腸炎患者の集団発生がありましたのでお知らせします。

記

1 概要

- (1) 発病月日 4月12日(火) から
- (2) 有症者数 4月19日現在 12名 (入所者9名、職員3名)
- (3) 症 状 嘔吐、下痢(重症者なし)

2 対応

周南健康福祉センターが、消毒方法等の衛生指導を実施

3 その他

感染性胃腸炎は、毎年12月から1月にかけて流行しますが、年間を通じて発生する感染症ですので、引き続き注意をしてください。

【感染性胃腸炎の予防策】

- ①石けんでよく手を洗いましょう。
- ②感染した人の便やおう吐物には、直接触れないようにしましょう。
使い捨ての手袋やティッシュペーパー(キッチンペーパー)などを使って処分しましょう。
嘔吐物のあった床などは、次亜塩素酸ナトリウム(塩素濃度0.02%：市販の塩素系漂白剤は250倍に希釈)で浸すように拭き、10分後に水拭きしてください。
- ③食品の取扱に注意しましょう。
食品は、中心部までよく加熱(85℃、1分間以上)しましょう。
- ④調理器具はよく洗って、殺菌しましょう。
熱湯(85℃、1分間以上)や塩素濃度0.02%の次亜塩素酸ナトリウム(市販の塩素系漂白剤を薄めたものなど)で殺菌しましょう。

(参考)

感染性胃腸炎とは

- (1) 病原体：ウイルス(ノロウイルス、ロクウイルス、腸管アデノウイルス等)
細菌(カンパロバクター、病原性大腸菌、サルモネラなど)
- (2) 感染経路：食品や水を介しての経口感染や吐物、便を介しての接触感染(二次感染)
- (3) 臨床症状：発熱、下痢、嘔吐、腹痛など